

審査評価基準（１次審査）

別添 5

大項目	小項目	No.	評価概要	配点	評価					加算率
					5	4	3	2	1	
基本事項 (25点)	事業目的の理解度	1	全体として本業務の目的を十分に理解した提案になっているか。	5	5	4	3	2	1	× 1
	業務実績	2	本業務を遂行するにあたり、他団体で同様のシステムを構築した実績があるか。	15	15	12	9	6	3	× 3
	スケジュール	3	スケジュールが工程ごとに具体的に示されており、指定した本稼働予定日に稼働できるスケジュールになっているか。	5	5	4	3	2	1	× 1
システムの機能性・非機能性 (75点)	機能の実現性	4	本市が求める機能を十分に実現できているか。	20	20	16	12	8	4	× 4
	事業効果（市民側）	5	市民の負担軽減や待ち時間の短縮等の効果が十分に発揮できる提案となっているか。	15	15	12	9	6	3	× 3
	事業効果（職員側）	6	（主に手続自動判定やRPAの連携部分で）職員の負担軽減の効果が十分に発揮できる提案となっているか。	15	15	12	9	6	3	× 3
	基幹系業務システム連携	7	・本市の基幹系業務システムとの連携が適正かつ円滑にできる仕組みとなっているか。	10	10	8	6	4	2	× 2
	拡張性	8	将来的に対象窓口の拡大を図る上で、本市側に経費的・人的負担が少なく、円滑に拡大できるような提案となっているか。	15	15	12	9	6	3	× 3
可用性・セキュリティ対策 (15点)	可用性	9	電源障害や自然災害に対し、システムの可用性を高める対策が施されているか。	5	5	4	3	2	1	× 1
	セキュリティ	10	システムやデータセンターは、個人情報を取り扱う上で適切なセキュリティ対策が施されているか。	10	10	8	6	4	2	× 2
導入支援 (25点)	職員研修	11	職員研修の質・回数・体制等、支障なく本稼働できる内容が提案されているか。	10	10	8	6	4	2	× 2
	支援体制	12	・業務効率化を実現するため、また、本システムを円滑に運用開始するための業務の見直し支援に関する内容が示されているか。 ・支援内容は現実的かつ分かりやすく実現性のあるものか。 ・見直しにかかる職員側の負担が大きくなりすぎないよう考慮されているか。	15	15	12	9	6	3	× 3
運用保守 (10点)	運用保守	13	保守内容、障害対応体制は適切なものとなっているか。	10	10	8	6	4	2	× 2
独自提案 (10点)	独自提案	14	要件定義書に定めている仕様以外に、本市にとって有益な提案がなされているか。（将来的な拡張機能含む。）	10	10	8	6	4	2	× 2
見積書 (40点)	見積額	15	見積額に応じて配点。 なお、提案上限額を超えた場合は失格とする。	40	40	32	24	16	8	× 8
計				200						

審査評価基準（２次審査）

別添 5

対象	大項目	小項目	No.	審査のポイント	配点	評価					加算率
						5	4	3	2	1	
デ モ ン ス ト レ ー シ ョ ン	デザイン （見やすさ）	操作画面	1	・システム操作画面はシンプルで見やすく、視覚的に操作がわかりやすいデザインとなっているか	5	5	4	3	2	1	× 1
	操作性 （使いやすさ）	窓口対応時の操作	2	・市民及び職員双方に分かりやすい画面構成及び入力内容となっているか。 ・他担当者への情報の引継ぎ（課をまたぐ場合も含む）が分かりやすく確実なものになっているか。 ・市民への聞き取り及び聞き取り内容の入力をサポートする機能があるか。	15	15	12	9	6	3	× 3
		バックオフィスでの操作	3	・情報の修正が容易か。 ・入力内容の確認が容易かつ確実に実施できるか	10	10	8	6	4	2	× 2
		システム管理に関する操作	4	・ユーザー情報の管理が容易か。 ・帳票や手続きの追加・修正が容易か。 ・法改正や組織改正等への対応が容易にできるか。	10	10	8	6	4	2	× 2
		効率化・自動化による負担軽減	5	・市民の負担軽減及び利便性向上が図られる仕組みとなっているか。 ・職員の業務効率化及びサービスの平準化が図られる仕組みとなっているか。	10	10	8	6	4	2	× 2
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	全般	コンセプト	6	・本業務の目的を達成するための考え方やコンセプトが明確で、業務効率化が期待できるか ・仕様書及び機能要件表に対する実現方法は適切で、実現性は十分か	10	10	8	6	4	2	× 2
		事業者	7	・質問に対する回答が、明快・迅速・的確か ・誠実かつ、柔軟で迅速な対応が期待できるか	10	10	8	6	4	2	× 2
		目的達成のための支援体制	8	・本業務の目的を的確に理解し、目的達成のための支援体制（職員研修やマニュアル作成、運用の見直し等）が十分期待できるか。	10	10	8	6	4	2	× 2
		拡張性	9	システム標準化や今後の行政DXを見据えた提案か。 現実的かつ実現性のある提案か。	10	10	8	6	4	2	× 2
	追加提案		10	・市の課題解決や市民及び職員双方の負担軽減などに向けての、必要性や効果が具体的に記載されており、理解できるものか。 ・本市の実情を踏まえた提案か。 ・活用が十分に期待できる提案か。	10	10	8	6	4	2	× 2

100